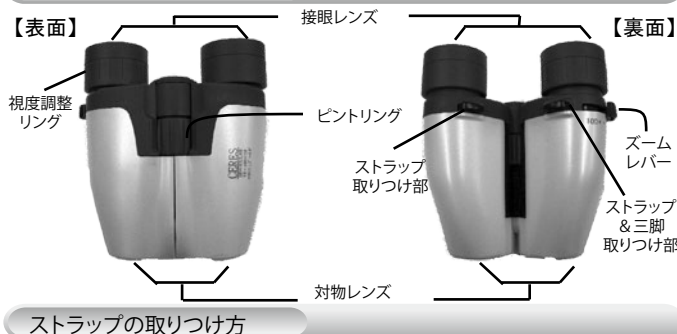


セレス18~100×28 ズーム双眼鏡

取扱説明書(補足)

このたびは、ズーム双眼鏡をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前には必ず取扱説明書と取扱説明書補足をよくお読みいただき
安全に正しくお使いください。また取扱説明書等は必ず大切に保管してお
いてください。

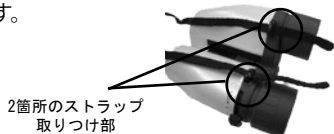
各部名称



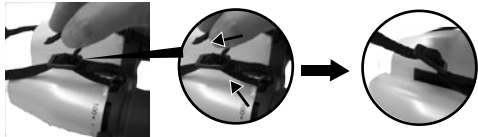
1. 双眼鏡の裏側にあるストラップ取り付け部に、ストラップを図のように差し込みます。



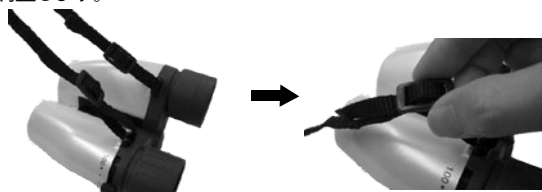
2. ストラップが、ねじれないように注意して、2箇所のストラップ取り付け部に同じように差し込みます。



3. 差し込んだストラップの先を、ストラップに通してある黒い留め具に通します。



4. 2箇所とも同じように取り付けます。その後、ストラップの長さをお好みの長さに調整します。



双眼鏡の使い方

1. ストラップを取りつけます。
(ストラップの取り付け方を参照)
ストラップを首に下げ、胸の少し上あたりに双眼鏡が
くるように長さを調整します。



2. ズームレバーを一番倍率の低い方に合わせます。

双眼鏡の裏側にあるズームレバーを18×の方に動かします。

※一般的に高倍率になると、視野が狭くなり
暗くなるため、目標物が見つけにくくなります。
まず、低倍率で目標物を捉え、徐々にズームア
ップしていきましょう。



3. 双眼鏡を覗いてみましょう。

双眼鏡の接眼レンズ側から覗きます。

※反対側から覗くと、像が小さく見えます。必ず
接眼レンズ側より覗いてください。

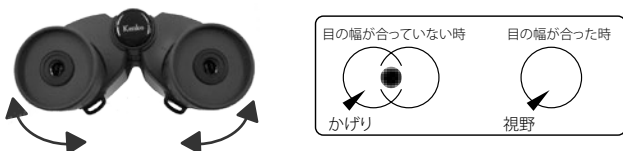


4. アイポイント(双眼鏡を覗いた時、全視野が見える位置)を合わせます。
眼鏡をかけていない方は、そのままの状態で観察することができます。眼
鏡をかけている方で、双眼鏡をのぞいた時に全視野を見ることができない
場合は、ゴム見口を折り曲げてご使用ください。



5. 双眼鏡を自分の目の幅に調整します。

両手で双眼鏡本体を持ち、自分の目の幅に合うように左右の筒の結合部を
ゆっくり折るように動かします。図のように左右の目で見た視野が1つの円
になって見えた時が最適な幅ということになります。



6. 視度とピントを合わせます。

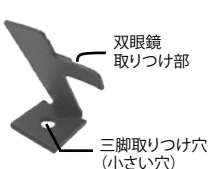
- ①看板の文字など1点の目標を決めます。
- ②まず右目を閉じて、左目だけで対象物がはっきり見えるようにピントリ
ングを回します。
- ③次に左目を閉じて、右目だけで対象物がはっきり見えるよう視度調整リ
ングを回します。
- ④以上で左右の視度の違いが調整され、両眼のピントのずれが解消しま
す。あとは、ピントリングを回すだけで、すぐに焦点を合わせることがで
きます。

7. 構え方

手で持って使用する場合は、脇を締めて両手でしっかり構えます。木立やクイなどを三脚代わりに使用す
ると手ぶれが少なくなります。必要によってズームを使用
しご覧ください。高倍率でご使用の場合、手ぶれが
大きくなりますので付属の三脚取り付けホルダーを
使用し、三脚に取りつけてご使用することをおすすめ
します。(三脚取り付けホルダーの取り付け方を参照)



三脚取り付けホルダーの取り付け方

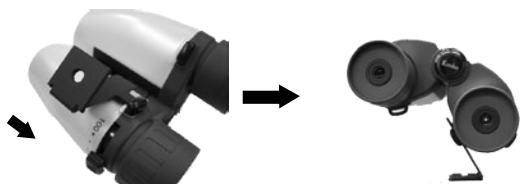


左記の三脚取り付けホルダーを双眼鏡に取り
つけ、三脚で固定します。

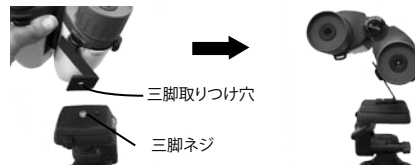
※ストラップ&三脚取り付け部を利用し三脚取り付けホル
ダーを取り付けるため、ストラップを取りつけている場合は
ストラップははずしてからご利用ください。

1. 双眼鏡裏面にあるストラップ&三脚取り付け部に、三脚取り付けホル
ダーの双眼鏡取り付け部を差込みます。

※落下防止のため、少しきつめになっております。



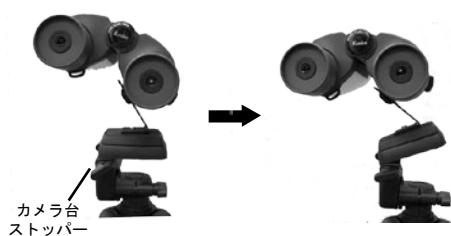
2. 三脚取り付けホルダーにあてている、三脚取り付け穴に三脚のネジを
ねじ込みます。



3. バンハンドルが対象物を向くように三脚をセットします。



4. カメラ台ストッパーを緩め、双眼鏡が平行になるように合わせます。



ご注意

双眼鏡を高倍率にするとレンズの部分に黒い幕がかかったような状態と
なり、透明なナイロンの紐のようなものが境界の中をすべっていくように
見ることがあります。これは、眼球内の組織体が網膜上に投影されて回
析現象を起こすことで生じるもので、一般的にエントプティック現象(飛蚊
現象)と呼ばれる現象です。双眼鏡の異常ではありませんのでご注意くだ
さい。